

の欲しくない物ももらって使わないよりも、実用性のある物に交換したほうが、相手に対していいことだ！と思うからなんですけどね…。でも最近は、「プレゼントをいただいたことに感謝をする」という発想が素敵だなと感じるので、「レシート見せて！」とは言わないですよ(笑)。

日本と韓国をつなぐ“架け橋”に

子育てから見えてきたこと

子育ては、難しいですね。子どもが小さいときには、日本の童謡を歌ったり、絵本を読んだり、絵本を讀んであげることが上手にできなかったのも、CDでごまかしてしました。子どもが間違った発音を覚えてしまわないか心配だったし、小さなときに覚えた発音が、大人になったときにも左右されそうで…。

Republic of Korea



Japan

また、数年前、子どもが反抗期のときに、「お母さんは授業参観に来ないで！喋ると目立つからやめて」と言われたことがあります。今ではそういうことは言わなくなりましたが、辛い思いをしていたときもあつたんだな、ということがわかりました。

最近では、外国人の親を持つ子どもが増えています。これからも辛い思いをするときが

くるかもしれません。そんなときは、自分の考えや意見をしっかりと伝えるようになってほしいと思っています。そうすれば、まわりの人も嫌なことは言ってくれないと思うよ、と伝えていきます。そして、大人になったら、日本と韓国をつなぐ“架け橋”になってくれたら嬉しいです。きっと私たちの間に生まれてきたことを喜んでくれるときが来るでしょうね。

菱沼さん・徐さん一家 (板橋区在住)

※韓国では夫婦別姓が原則



♥馴れ初め♥妻のアルバイト先のファストフード店に、夫がお客さんとして来店♥お互いの好きなお店  
♥夫から：まわりにたくさんの方が集まってくる。妻から：とても優しく、人の悪口は絶対に言わないところ。

お子さんに一言

私たちの間に生まれてきたことを、メリットとして考えて、大人になっていってほしい。2人が選んだ道を応援します！

★ インタビューを終えて ★

今回のインタビューは2組の方ともに、終始笑い声にあふれた楽しい時間になりました。

「日本人同士の結婚なら気づかないことが、出身国の違う二人が結婚したからこそ、気づくことがあります。ひとつひとつ、一緒に気づくことができると本当に楽しいです」

インタビュー中にお聞きしたジェームスさんの言葉です。

文化の違う二人が一緒に暮らして気づくこと—今回のインタビューをとおして、私たち日本人が普段、何気なくやり過している家事や育児についても、改めて違った視点から見ることができたのではないだろうか。

文化の垣根を越えて、取り入れることができるものは取り入れて、生活を充実させていくことができると思います。

